

南関町橋梁長寿命化修繕計画

令和3年3月



熊本県南関町

目 次

	PAGE
1. 長寿命化修繕計画の背景と目的	1
2. 南関町の橋梁の状況	2
3. 南関町の長寿命化修繕計画	4
4. 計画策定窓口	4

1 長寿命化修繕計画の背景と目的

(1) 背景

高度経済成長期後に架設された多数の橋梁の半数以上が、今後 10 年間で耐用年数の 50 年を越えて高齢化橋梁に入ります。急速に高齢化が進む管理橋梁に対して、従来の損傷が大きくなってから補強・更新等の対策を行う維持管理を継続した場合、維持管理コストが膨大となり、安全性・信頼性の確保のための適切な維持管理を続けることが困難となる恐れがあります。

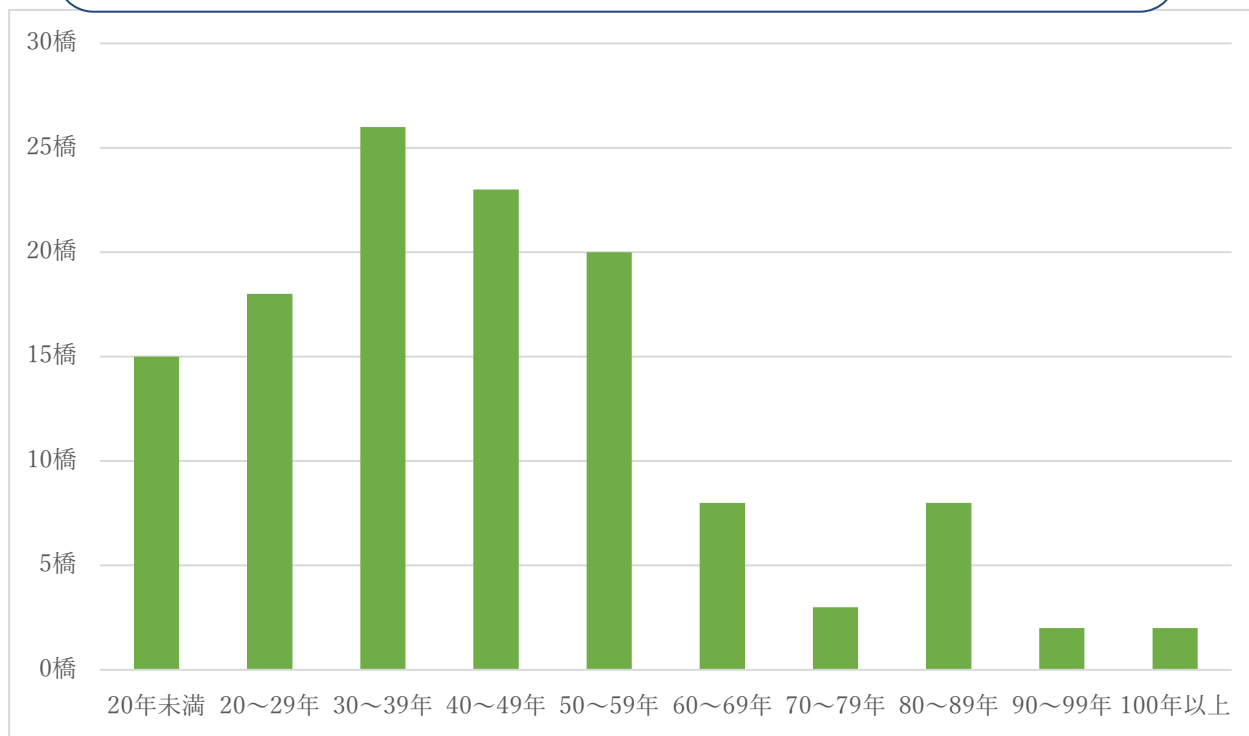


図 1-1 橋梁の供用年数による分類

(2) 目的

今後老朽化する南関町が管理する道路橋の急速な増大に対応するため、損傷が小さなうちに計画的に行う予防的な修繕へと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕・架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とします。

2 南関町の橋梁の状況

(1) 橋梁の年齢構成

南関町が管理する橋梁 125 橋 (15m 以上:27 橋、15m 以下:97 橋) で、建設後 50 年以上を経過した橋梁の占める割合は、現在の 35%から 10 年後には 53%まで増加します。

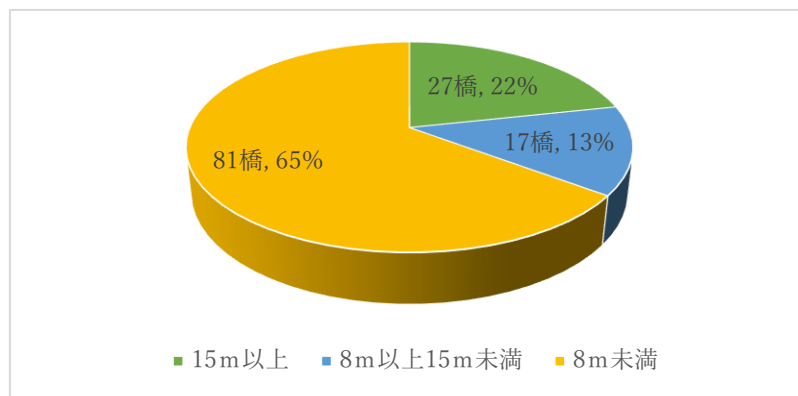


図 2-1 橋長による分類

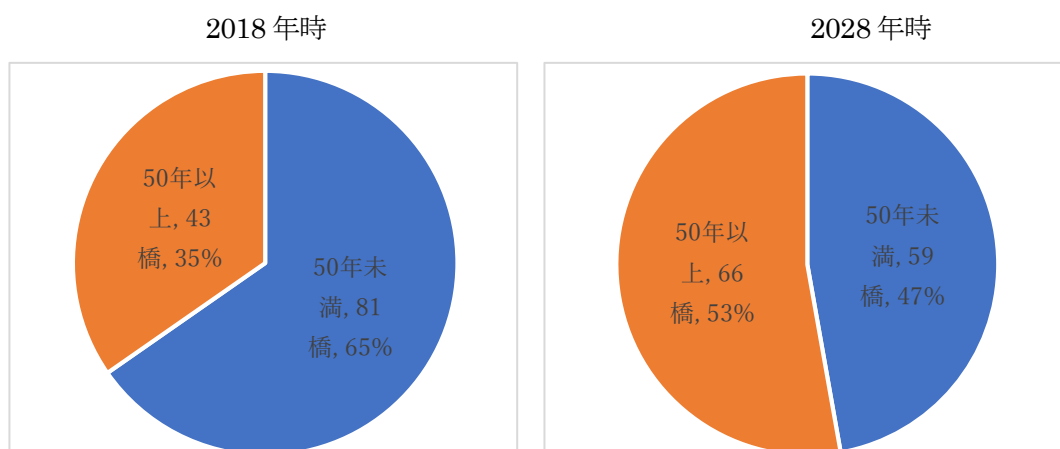


図 2-2 供用年数推移グラフ

(2) 橋梁形式

橋梁形式は、RC 橋 63 橋、PC 橋 31 橋、鋼橋 5 橋、BOX カルバート 28 橋、石橋 3 橋となっています。

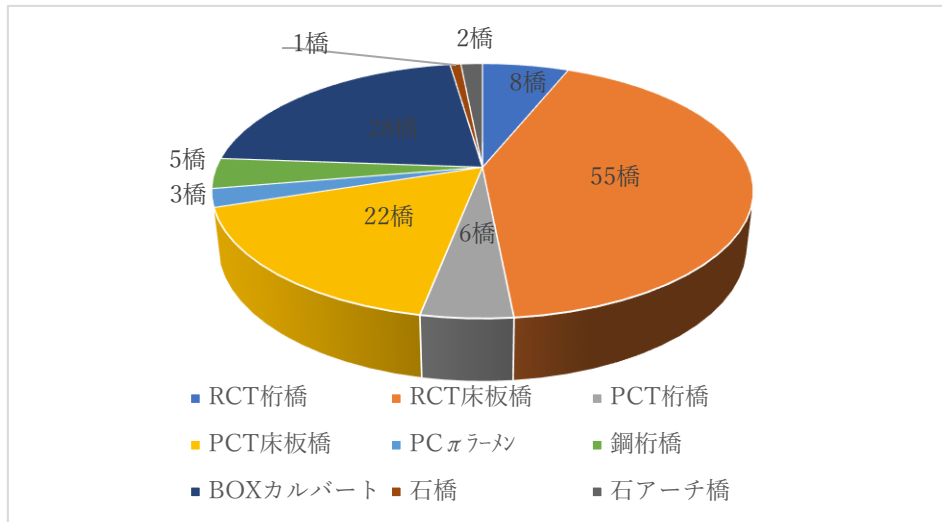


図 2-3 構造形式による分類

※同一橋梁で複数の構造を持つ橋梁（例、RCT 桁+鋼桁、RC 床版+BOX カルバート等）については、各々の構造を集計しているため、橋梁数と一致しません。

(3) 健全度

現地調査結果から早期的な補修が必要な橋は約5%(7橋)と判定されています。

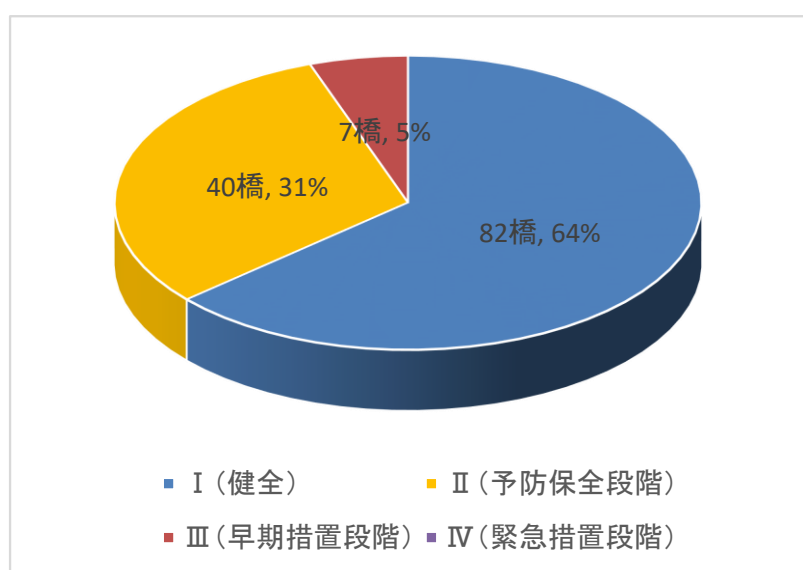


図 2-4 対策区別の橋梁数割合

3 南関町の長寿命化修繕計画

(1) 計画の対象橋梁

「橋梁長寿命化修繕計画」は南関町が管理する橋梁 125 橋を対象にします。

(2) 点検計画

定期点検は、各橋梁について 5 年に 1 回の頻度で行うことを基本とします。

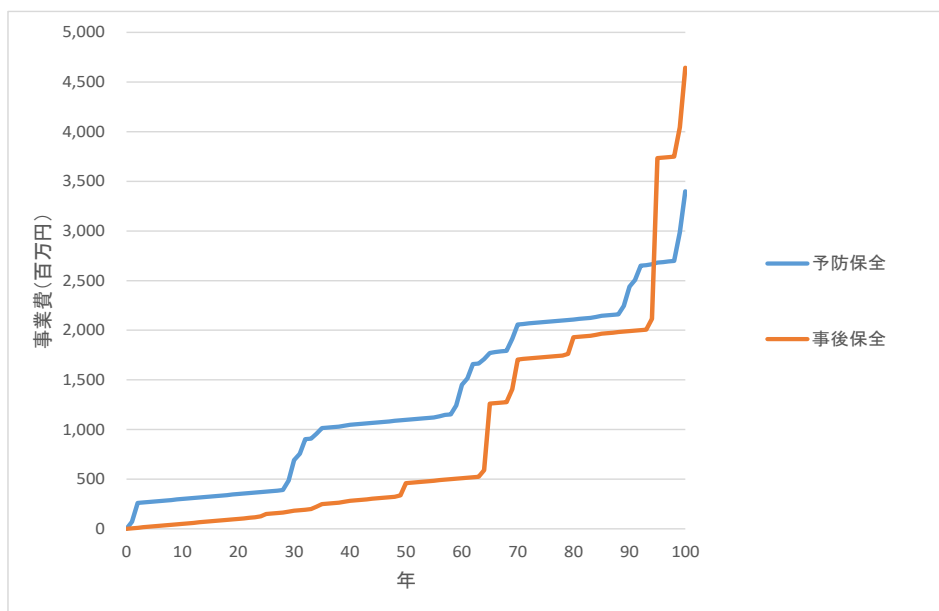
(3) 予防保全型管理における架替え計画

計画的な予防保全を行うことで、大規模な補修工事や架替を必要としない経済的な維持管理を目指します。

※補修の実施にあたっては、個々の橋梁の状態を詳細に調査し、その結果に基づき対策工法を選定します。橋梁の状態によっては、架替を行った方が経済的にも得策となる場合などは架替を行うこともあります。また、他事業関連(河川改修等)により架替が必要となる場合もあります。

(4) 事業効果

計画的な予防保全を行うことで、事後的な対策に比べて約 12.4 億円のコスト縮減となります。



4 計画策定窓口

(1) 計画策定窓口

南関町 建設課 TEL 0968-53-1111